

平成24年度 鹿島宇宙技術センター施設一般公開 テーマ「電波と人工衛星、私たちと宇宙をつなぐ」

鹿島宇宙技術センターは、11月23日（金・祝）に施設一般公開を実施しました。例年夏開催のところ、今年度は東日本大震災による被害を受けた展示館のほか構内各所での復旧工事の影響で、初めて秋に開催しました。

あいにく雨の降る肌寒い中での開催でしたが952名もの方にご来場いただきました。

公開内容のうち、特に災害時の人工衛星を利用した通信や津波早期発見等、災害対策にも役立つ研究を行っていること、さらにそれらの実用化の可能性について関心の高さがうかがえました。

また、鹿島を含む各地での東日本大震災後の地面の動きを床に実サイズで示した展示コーナーでは担当者の説明に熱心に耳を傾ける来場者が数多くみられました。



●賑わう展示館内



●地震後の地面の動き体験

施設開所10周年 平成24年度 沖縄電磁波技術センター施設一般公開

沖縄電磁波技術センターは、11月23日（金・祝）に施設一般公開を実施しました。沖縄センターの研究紹介、施設見学ツアーに加え、航空機搭載高性能合成開口レーダ（Pi-SAR2）の観測画像の紹介、レーダの原理を体感していただくスピードガン、超高速インターネット衛星「きずな」のデモ、4次元デジタル地球儀による地球環境映像のほか、「電波で狐を探そう！」と銘打って、センターの庭に隠した電波源を参加者が簡易受信器で探すゲームを実施し、多くの子どもたちを楽しんでもらいました。また、総務省沖縄総合通信事務所による電波監視車の公開、電子工作などを行いました。当日の午前中は、あいにくの雨模様にもかかわらず、多くの来場者を楽しんでいただきました。



●電波で狐を探そう！ Fox hunting:
受信器を手に「狐」を探す子どもたち



●施設見学ツアー：センター屋上に設置された気象観測機器の説明を聞く来場者